

鉄道ピクトリアル

2003年9月号 Vol.53 No.9 通巻No.736

<特集> 大都市圏 JR 線区の快速運転

■表紙 223系2000番代「新快速」……………池田 嘉晃
高槻—山崎 2002-4-23
ニコンF5 EDニッコール300mm F2.8S RDP II

■カラー

特集：URBAN RAIL 2003 (1～8ページ)

森本裕之・澤木良直・沼尾吉晃・佐野嘉春・杉崎健一
……………河原慶明・佐藤利生・岡村圭隆・三島達夫・和田京太
山中 茂・平賀貴之・原 敬一

Pictorial Color Gallery ウルトラマンが行く!……………米倉裕一郎… 73

[JR九州800系新幹線電車完成/JR東日本「こがね」/JR北
海道「富良野・美瑛ノロッコ号」増結車/JR東日本NEトレ
インの試験走行を公開/JR東日本165系の臨時急行ほか] 76～80

■グラフ

JR大都市圏の快速運転を見る……………構成：編集部… 25
駆け抜けた“Blue Liner” 153系「新快速」……………構成：編集部… 32
JR東日本 東京圏の「通勤快速」……………津 島 誠… 34
D51その一族—1115分の1の素顔—(59)……………構成：編集部… 36
1960年代初頭 湖東線臨電の思い出……………河 昭一郎… 38
トピック・フォト(各地・関東・中部・関西)…………… 81
JR西日本6月1日ダイヤ改正と485系の動き……………松橋 均ほか… 88
JR東日本 三鷹電車区の営団東西線乗入れ車……………青木豊美ほか… 90
2003年6月21日 神戸電鉄ダイヤ改正……………米倉裕一郎… 92
近鉄 南大阪線系統の話題……………和田 京太… 94
南海ニュース……………藤井信夫ほか… 95
長崎電気軌道のわだい……………田栗 優一… 96

■本文

今月の話題：大都市圏 JR 線区の快速運転……………編 集 部… 9
大都市圏での快速運転の発達—国鉄時代を中心に—……………佐藤 信之… 10

【JR各社の快速運転概況】

JR 北海道 札幌圏……………村 上 仁… 42
JR 東日本 東京圏……………青木 義雄… 46
JR 東海 名古屋圏……………松本 征毅… 53
JR 西日本 アーバンネットワーク……………間崎光一郎… 57
JR 九州 福岡圏……………大矢 将寛… 65

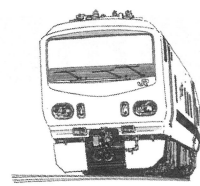
*

鉄道の話……………編 集 部… 41
連載・パーツ別線路観察学【8】……………石本 祐吉… 69
書評(479)『日本鉄道史の研究』……………和久田康雄… 72
西オーストラリア州 パース周辺の鉄道……………青山 慎一… 97
(財)鉄道総合技術研究所 平成15年度事業計画
……………(財)鉄道総合技術研究所 総務部…102

鉄道史探究(3) 買収国電の変わり種を拾う……………中川 浩一…104
現存する好間軌道の磐越東線乗り越え用橋梁の橋台基礎……………堤 一 郎…108
6月のメモ帳……………110
読者短信・情報ファイル……………111
後部車から……………115

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru



カット：山本茂樹

今月の話題

大都市圏 JR 線区の快速運転

都心から放射状に路線を伸ばしていった大手民鉄では、開業当初から急行等の列車種別を設定し、主要駅停車の快速運転による近郊区間の速達輸送が行われていた事例は多い。これに対し、国鉄ではいわゆる国電区間で快速を設けて、都市圏内の速達輸送に特化したサービスを実施した例は、戦前期では東京の中央線、関西では東海道・山陽線の急行電車が主などところで、民鉄のように大がかりな快速運転を行った路線はきわめて限られており、その傾向は戦後も長らく変わりはなかった。もっとも、国鉄の場合は同じルート上に、国電と中長距離の列車線が設定されるケースが多く、双方が各停と快速の役割を担ったが、基本的には同じ路線を走行しても別な線の列車という性格のものであった。こうした考え方が浸透していたから、大都市圏における快速運転が国鉄時代にはクローズアップされなかったのかも知れない。

しかし、1970年代後半以降、国鉄からJR各社が発足する中で、都市圏輸送で快速運転が積極的に実施されるようになる。特に1990年代から現在に至る間、JR各社の都市圏輸送では国鉄時代には見られなかったきめ細かい緩急結合のダイヤが設定されるケースが多くなった。民鉄に比べてもともと高速運転が可能であった良好な路線形態、運転設備などを駆使して行われる快速運転は速達性が高く、輸送需要の喚起と増加に多大な貢献を果たしている。JR各社による快速運転の展開は、高品質な輸送サービスを実現し、一部では並行する民鉄路線の輸送の脅威にもなっているが、都市圏近郊区間の利用者の利便性が格段に向上していることは間違いなく、今後の展開に注目したいところだ。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI
Oak Ochanomizu Bldg., Kanda Ogawa-
machi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan